



学校教育目標

- 進んで学習する生徒
- 明るく心やさしい生徒
- 体を鍛える生徒

『蕨東のあいさつひとつで笑東に』

東中だより

生徒数(名)
男子 177
女子 155
計 332

令和4年10月3日 第7号

Tel 048・442・5370 Fax 048・442・5377

さわやか相談室 Tel 048・445・6692

E-mail higasijh@warabi.ne.jp



伸びしろ

校長 岡部 慎一

先日本校体育祭には、感染拡大防止に係る制限や熱中症対策のある中、ご理解とご協力を賜り、参観や運営へのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。台風接近で天候が心配されましたが、生徒たちの熱気が、それを吹き飛ばすかのように、元気にカー杯取り組み、本気や感動を見せてくれました。生徒代表の素晴らしい呼びかけで始まり、楽しそうな生徒たちの笑顔や生徒と教師の一体感と共に、保護者の皆様の声援や拍手を嬉しく感じました。9月初旬から、授業や休み時間、放課後に体育祭に向けた生徒たちの練習する姿が見られ、日々の成長や活気を嬉しく感じていました。今後もコロナ禍において、できる教育活動を検討しつつ、教職員、生徒たちと共に、感染予防の意識をもちつつ取り組んでいきたいと思えます。引き続き、健康観察や連絡等、ご協力をお願いいたします。



これからは秋も深まり、青く澄み渡った空、吹く風の爽やかさ、虫の声や木々の紅葉など、季節の良さを感じると思えます。よく「○○の秋」と言われ、○○に「読書・食欲・実り・スポーツ・芸術・勉学」などの言葉を連想されるのではないのでしょうか？心や体や頭にとって、多くのことに触れて、伸びるチャンスが有るのがこの秋です。過ごしやすいこの季節に何かを始めたり経験したりするのもいいかもしれませんね。日が暮れるのが早くなり、朝も爽やかな秋らしさを感じます。「芸術の秋」というフレーズがしっくりくる本校吹奏楽部の演奏、とても素敵でした。



10/1 生涯学習フェスティバル 吹奏楽部

さて、今月の「スポーツの日」は1964年10月10日東京オリンピックの開会式の日になみ制定され、以前は「体育の日」の名称でした。2000年から今のスタイルである10月の第2月曜日になりましたが、10月というとスポーツの季節という感じがします。運動部の生徒たちは9月から新人体育大会兼県民スポーツ大会が開催されています。嬉しい報告として、一足先に本校水泳部男子100mバタフライやテニス部女子シングルスとダブルス、団体が県大会出場を決めています。9月下旬を皮切りに二市予選会がスタートし、10月以降も県南大会、二市駅伝大会なども予定されています。大会では他校のチームや選手と勝敗を競います。本校体育祭・音楽祭においても学級で競いますが、スポーツだけでなく芸術作品の審査やコンクール等でも様々な観点を総合して、入選や順位が決まります。勝てば嬉しく、負ければ悔しいのは当然ですが、その前までのプロセスも大切だと考えています。

結びに、野球で今は大谷選手の話で持ちきりですが、過去に日本からアメリカメジャーリーグに渡り、大活躍して現役をニューヨークヤンキースで引退された松井秀喜選手の言葉を紹介いたします。

僕はこれまでいろいろな人と出会い、いろいろな人に支えられてきた。そのうちの一人でも欠けていたら、果たして今の自分があったらだろうか。ここまでやって来れたらだろうか。僕の財産は、間違いなく友達だと思う。かけがえのない友人だと思う。 野球選手 松井 秀喜

生徒たちには、今大会だけでなく、部活のまとまりや絆をより強くしながら、仲間の大切さ、支えてくれる方々に感謝を感じて、精一杯臨み、全力を尽くして努力の成果を発揮して欲しいと願っています。生徒にはまだまだ「伸びしろ」がたくさんあるので、友人を大切にしながら、自分の可能性にチャレンジして欲しいです。